# オリックスグループの強みと今後の成長戦略

オリックス株式会社

証券コード 8591

2024年3月7日

# 本日のプログラム

01 会社概要

「隣へ、そのまた隣へ」と事業領域を拡大

02 強みと特長

変化をとらえ成長するバリューアップモデル

03 成長戦略

将来の成長につながる案件に積極投資

04 ポートフォリオマネジメント

ポートフォリオの多様化による収益の安定性


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 会社概要

# 1

# 幅広い層のお客様へ、多種多様な商品・サービスを提供

Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 高い成長を続け、国内有数の企業へ

*※別途記載がない限り、2023年3月期もしくは2023年3月末時点のデータに基づく。*

## 収益性

当期純利益
**2,903億円**

ROE
**8.5%**

## グローバルなネットワーク

従業員数
**34,737名**

地域
**28カ国・地域**

## 国内トップクラスの再エネ事業者

再生可能エネルギー事業
設備容量(全世界)*1
**4.3GW**

## 利益成長

当期純利益の年平均成長率
(13.3期～23.3期)
**10%**

## 国内トップクラスの個人株主数

**約85万人**

## 国内トップクラスの車両管理台数*2

**143万台**

## 配当成長

1株当たり通期配当額
(09.3期～23.3期)
**12倍以上**

## 健全な財務基盤

信用格付
**A格以上**

## アセットマネジメント事業の拡大

アセットマネジメント事業
運用資産残高*3
**61兆円**

*＊1 オリックスの持分比率および個別プロジェクトの出資比率を考慮して算出した数値(2023年12月末時点)。*
*＊2 2023年9月末時点*
*＊3 ORIX Europe、ORIX USA、不動産の各セグメントがアセットマネジメント事業で運用する資産残高の合計(2023年12月末時点。不動産のみ2023年9月末時点)。*


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# サステナブルな社会の実現のため、社会課題の解決に貢献

## 社会課題解決への取り組み

**脱炭素社会への移行**

再生可能エネルギーの推進
環境性能の高い不動産の開発

**サーキュラーエコノミーの推進**

廃棄物の再資源化
中古の機器や自動車の販売

**企業の活性化**

社会を支える企業への投資
中堅、中小企業の支援

**地域の活性化**

オフィス、商業施設、ホテルなどで構成される複合型まちづくり

## 重要目標の設定

2050年3月期までに、
GHG排出量を実質的にゼロとする

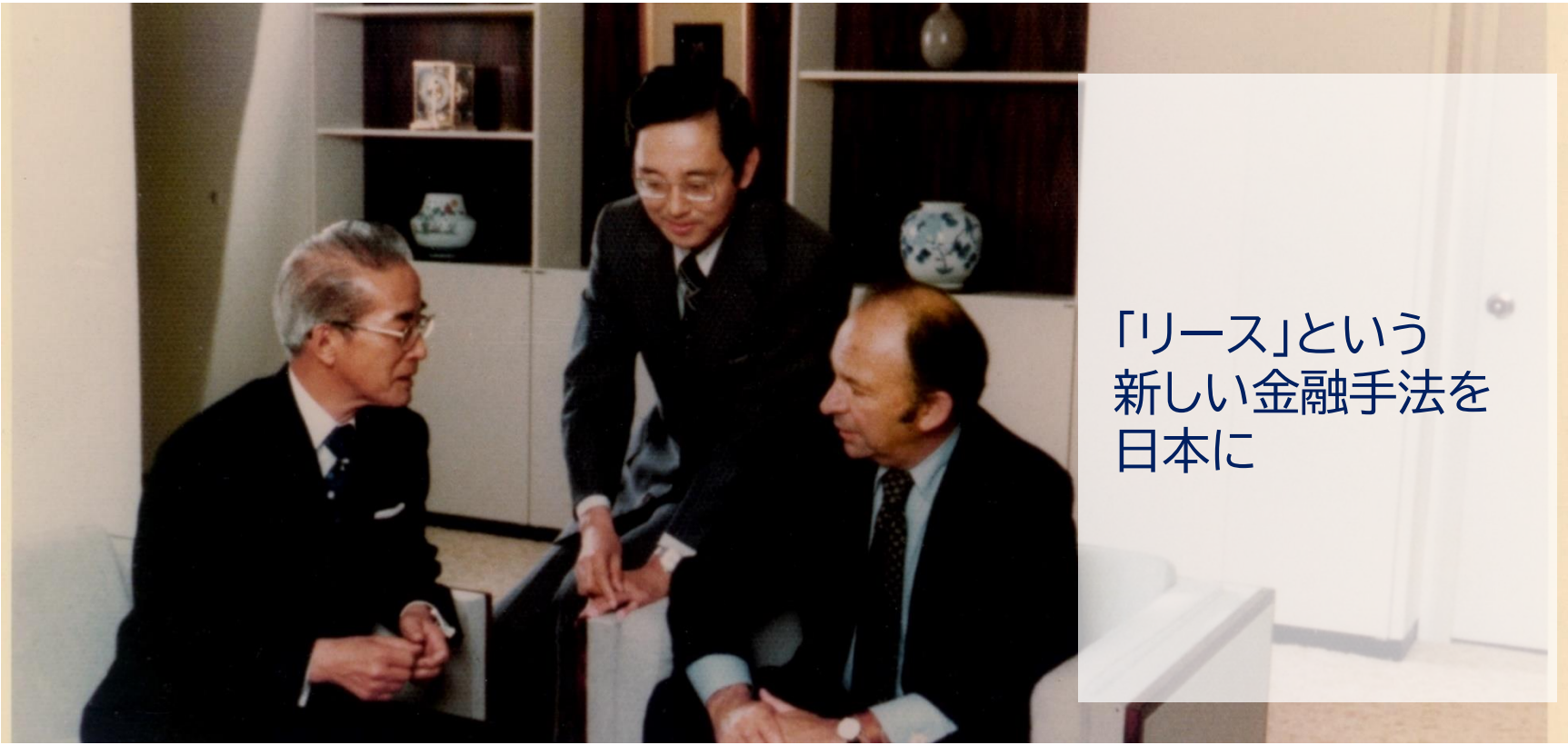
2030年3月期までに、
女性管理職比率を30%以上とする

2030年3月期までに、
女性取締役の比率を30%以上とする

**サステナブルな社会の実現**


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

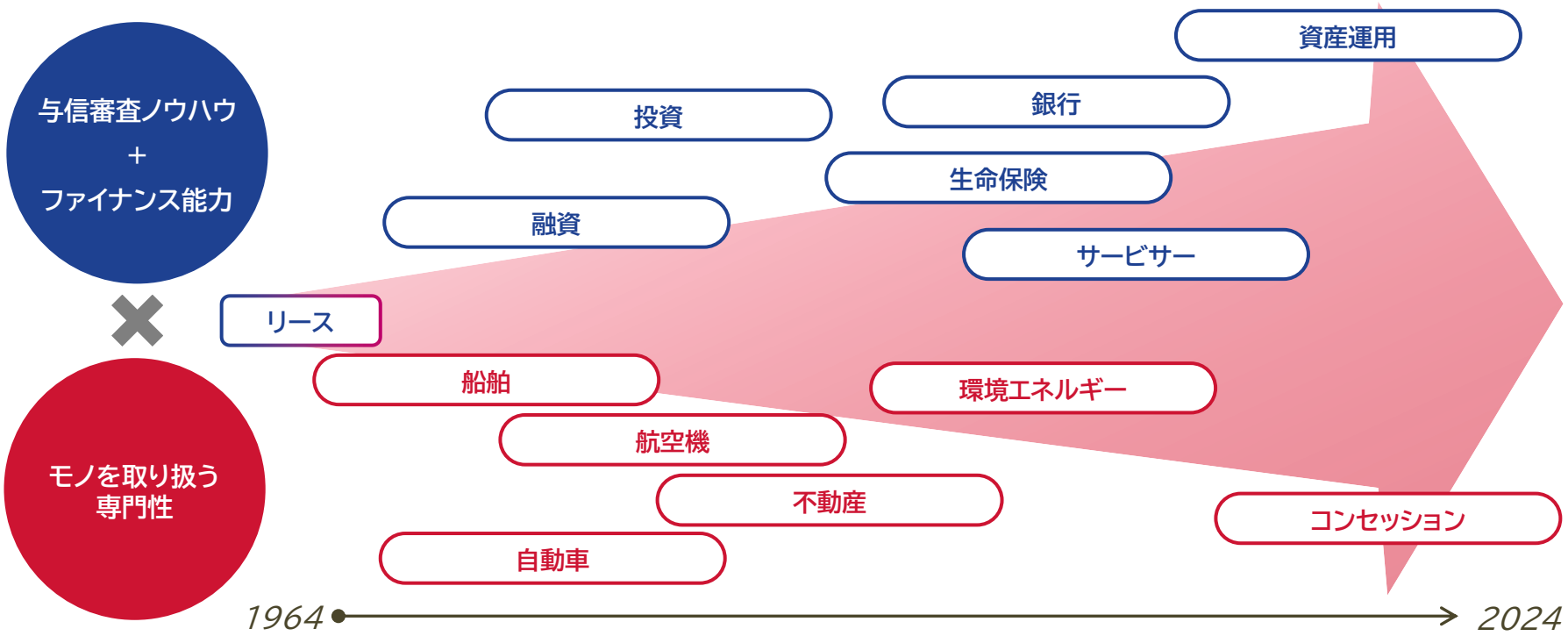
# リースが原点





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら「隣へ、そのまた隣へ」





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 強みと特長

# 2

# パーパスとカルチャーを軸に、さらなる一体感を醸成し、一層の成長を目指す

Purpose
存在意義

## 変化に挑み、柔軟な発想と知の融合で、未来をひらくインパクトを。

私たちオリックスグループは、祖業であるリースを起点に、「隣へ隣へ」と事業領域を広げ、
多角的に事業を展開するユニークな企業グループとなっています。
そんな私たちだからこそ培ってきた強みがあります。

それは、時代の要請をいち早く捉え、それに応えるためのビジネスの芽を見出すこと。
その芽を育てるために、既存の枠組みにとらわれない“柔軟な発想”と、
幅広い知見を生かす“知の融合”で、独自のこたえを作り出すこと。

この強みを生かして、私たちは自ら挑戦し、挑戦する人々を支援することで、
世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、
“未来をひらくインパクト”を生み出し続けています。

企業が時代を越えた進化を遂げるように。経済や社会が活性化するように。
人々がなりたい自分に近づけるように。
すべては、世の中が持続可能なあり方へと進んでいくために。

それが、私たちのパーパスです。

Culture
価値観

### 多様性を力に変える。

異なる視点や専門性を持った
仲間と意見を交わし、
垣根を越えて協力し合います。

### 挑戦をおもしろがる。

独自の価値を生み出すための方法を考え抜き、
取るべきリスクを見極めたうえで、
新しいことにも前向きに取り組み続けます。

### 変化にチャンスを見出す。

広い視野で時代の流れを捉え、
変化の兆しに対していち早く行動を起こし、
自らが進化する機会にしていきます。


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 経営の意思

王道を歩いてはダメ。

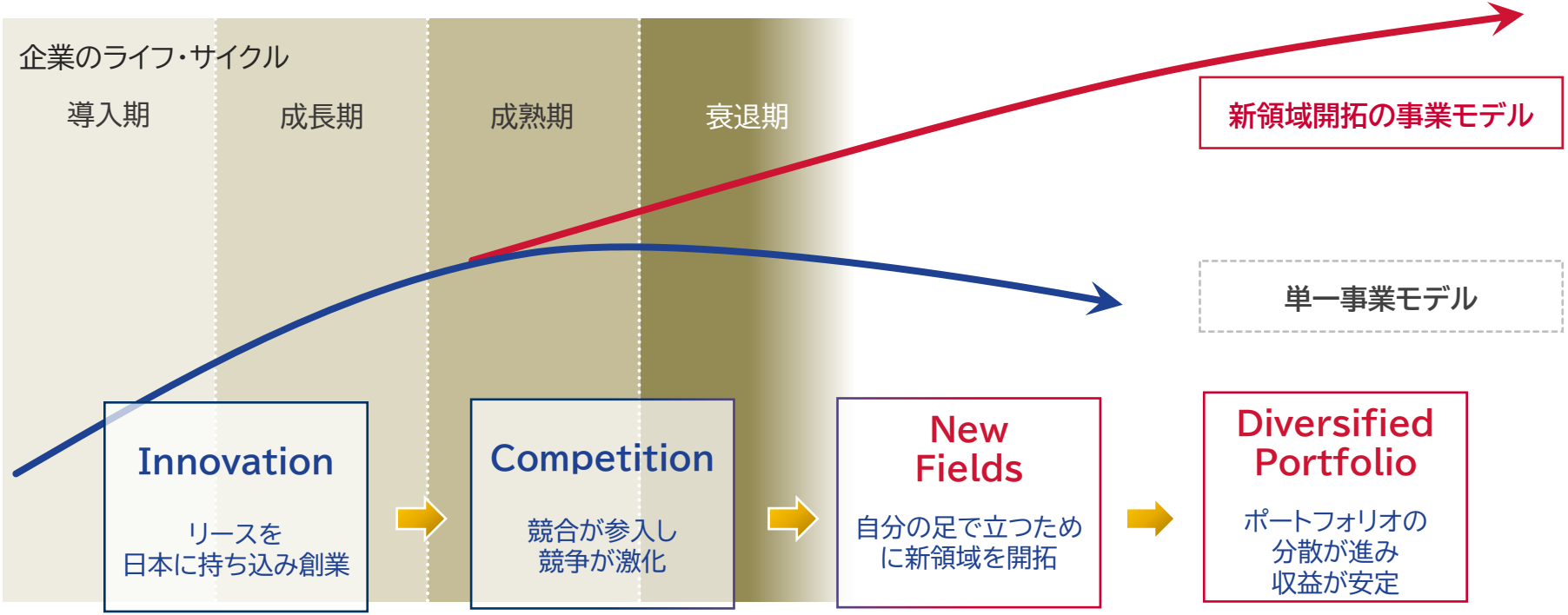
新規ビジネスというのは現場の隣にある。

オリックスは、減点評価を行わず、加点評価。

チャレンジした結果、たとえ失敗しても、失敗を通してノウハウが残る。


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

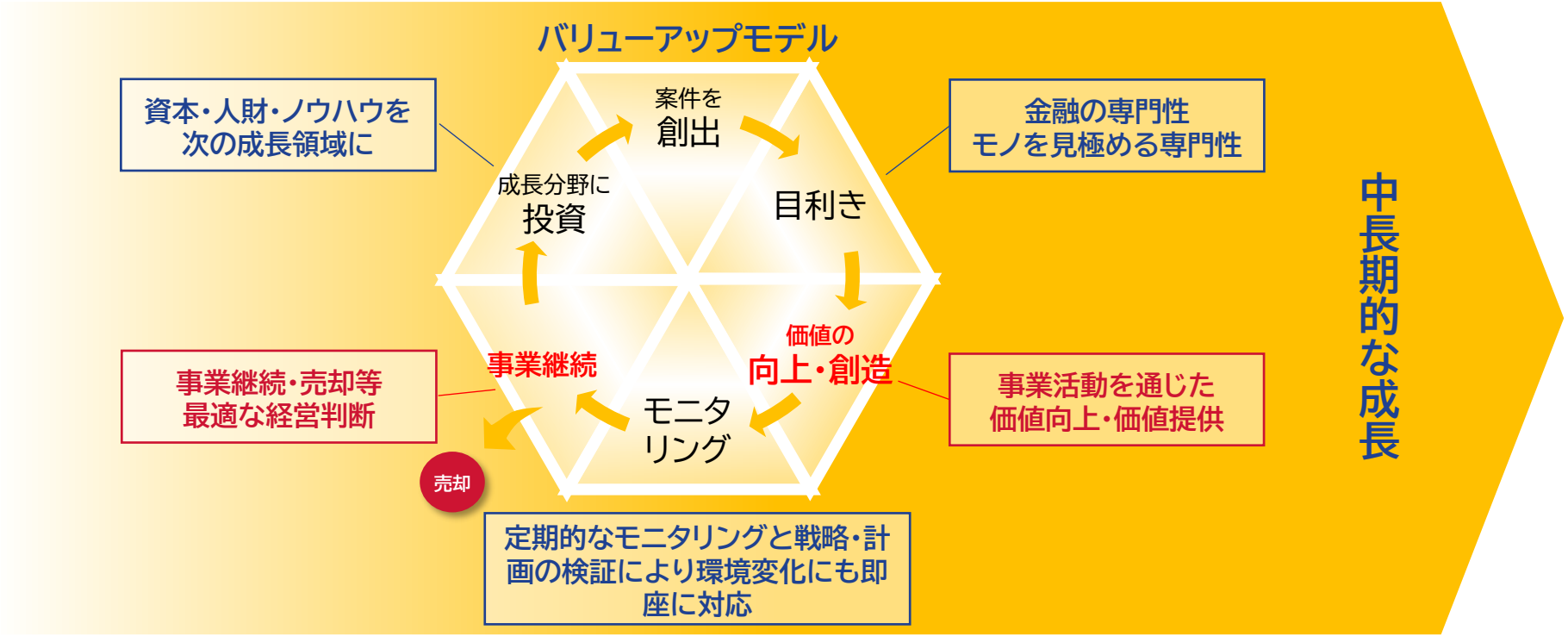
# 常に新領域を開拓し、持続的成長を実現





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# リスクを見極め価値向上を図るバリューアップモデルが根幹





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 成長戦略

# 3

# 国内で開発・運営ノウハウを蓄積し、現在は海外の再エネ事業に注力

## エネルギー事業

太陽光発電（日本・全国）

バイオマス混焼発電（日本）

ORMAT（アメリカ）

Greenko（インド）

ELAWAN（スペイン）

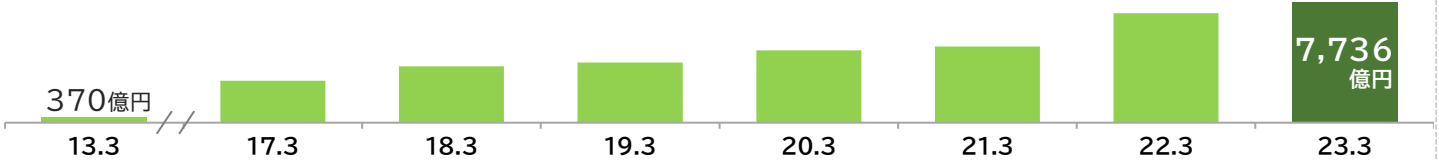
## 環境事業

リサイクル工場（日本）

最終処分場（日本）

バイオガスプラント（日本）

## セグメント資産





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 社会課題解決に貢献しつつ、投資先の成長支援を通して、高いリターンを実現

## 社会課題

**2025年問題**(※)

- **245万人**の経営者が70歳超
- **127万社**が後継者未定
- **60万社**が黒字倒産の可能性

**東証・アクティビストの要請**

- **資本効率**を改善
- **上場子会社**等の保有意義を開示
- **不採算事業**の売却

*（出所：中小企業庁 第三者承継支援総合パッケージ（2019年12月20日））*

## ORIXの事業投資（国内）

**DHC**

- **事業承継**案件
- **大手化粧品・健康食品メーカー**
- **企業価値**向上の**成長戦略**を実行中

**東芝**

- **非公開化**案件
- **大手総合電機メーカー**
- **出資**と**ローン**を実行済み


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

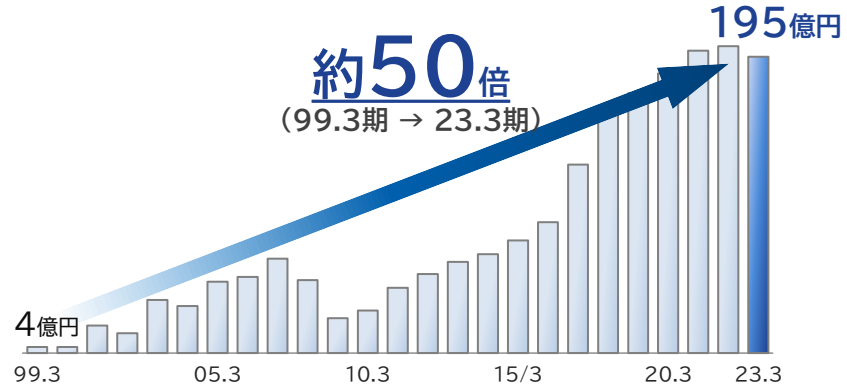
# グループ入り後、約50倍に利益成長

預金残高
2.2兆円
（2023.3.31）

## 過去の変遷・オリックス内での成長

| | |
|---|---|
| 1993年 8月 | 山一信託銀行株式会社として設立 |
| 1998年 4月 | オリックスグループ入り |
| 1999年 8月 | 「オリックス信託銀行株式会社」に変更 |
| 1999年10月 | 投資用不動産ローン事業開始 |
| 2021年10月 | 「オリックス銀行株式会社」に変更 |
| 2022年 3月 | 当期純利益200億円を達成 |

## 当期純利益の推移




※オリックス銀行・2023年3月期・決算説明資料より（日本会計基準）


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 保険料等収入が、約15年間で、4倍以上に成長

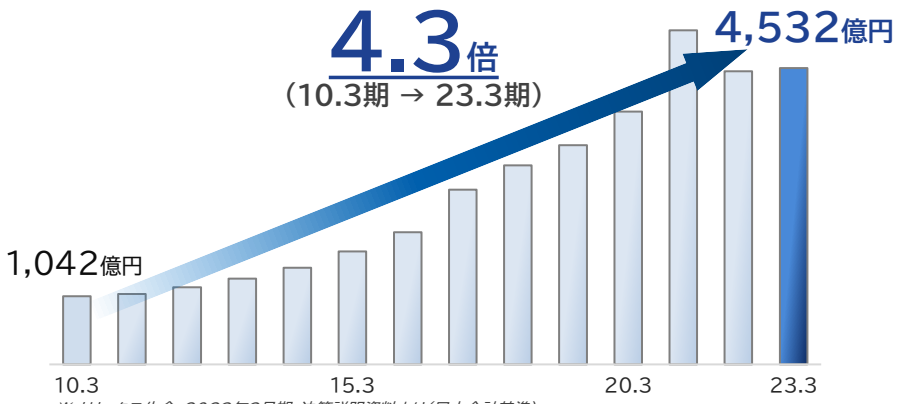
**個人保険の保有契約件数**

489万件 (2023年3月31日現在)

## 過去の変遷・オリックス内での成長

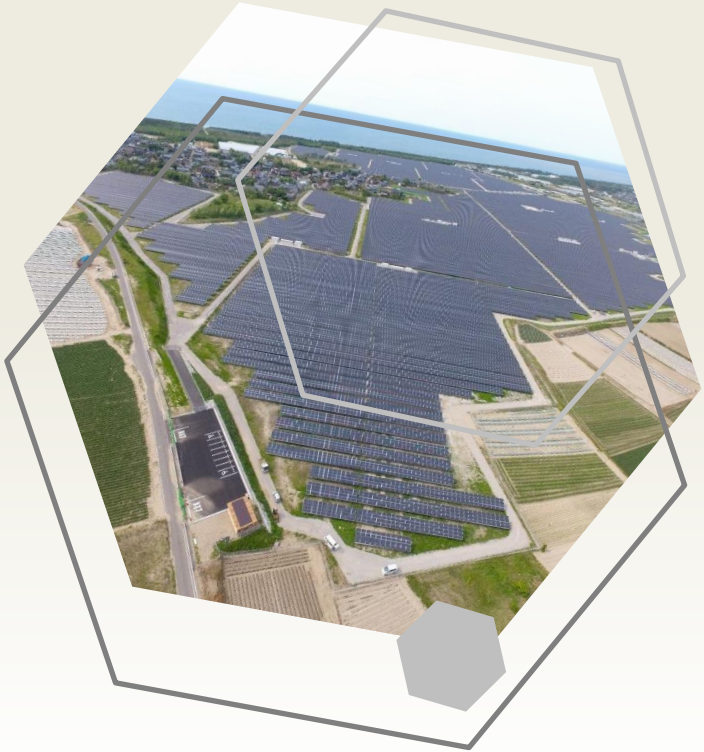
| | |
|---|---|
| 1991年 4月 | オリックス・オマハ生命設立 |
| 1992年11月 | オリックスグループ出資比率100%化 |
| 1997年 9月 | 「オリックスダイレクト保険」販売開始 |
| 2011年 5月 | インターネットによる保険申込開始 |
| 2021年 3月 | 保険料等収入5,000億円を達成 |

## 保有料等収入の推移




※オリックス生命・2023年3月期・決算説明資料より(日本会計基準)


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.



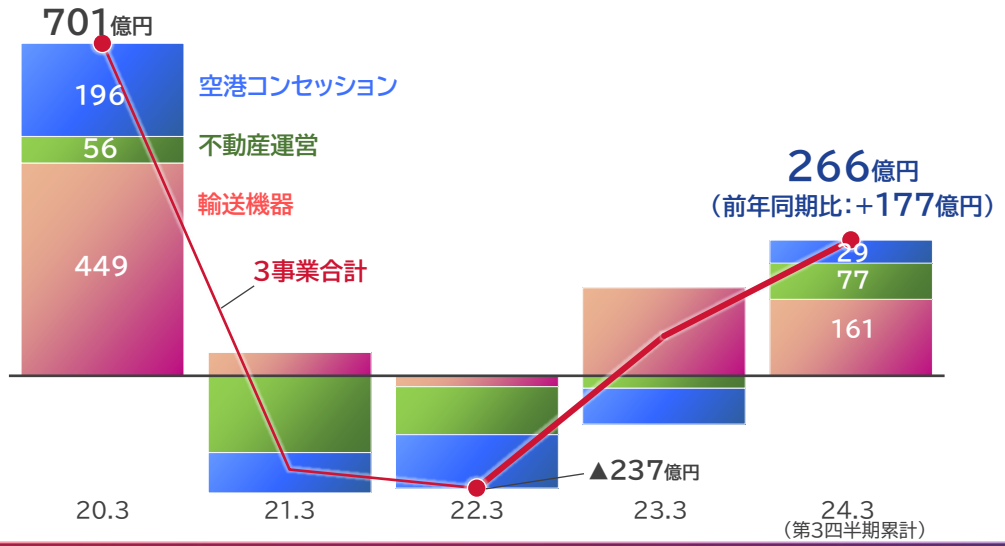
# ポートフォリオ
# マネジメント

# 4

# インバウンドの勢いもあり、コロナの影響を受けた3事業が勢い良く回復

※影響を受けた事業：空港コンセッション、不動産運営（旅館、ホテル）、輸送機器（航空機リース）

## 3事業の利益





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

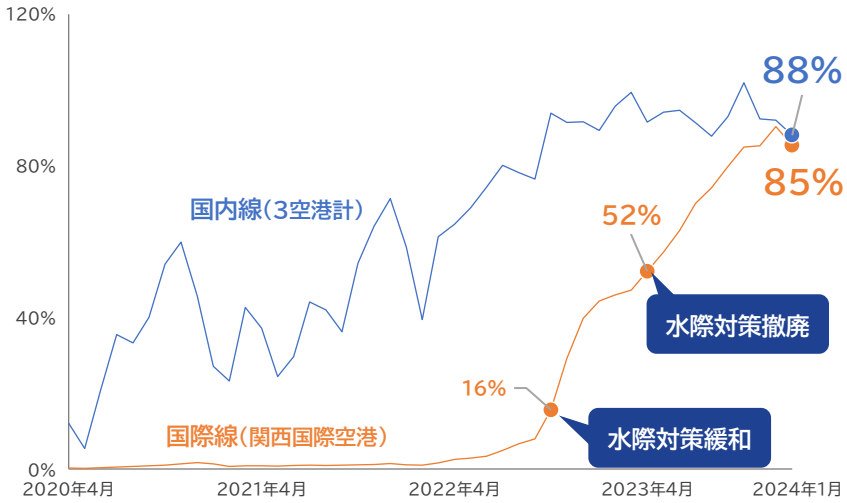
# 国際線旅客者数が大幅回復、大規模リノベもあり成長を見込む

## 事業の概要

（提供：関西エアポート）

- **国内初**の民間による大型空港運営
- 2016年スタート（オリックス40%出資）
- 関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港
- 関空・**新国際線出国エリア**オープン
  （2023年12月。大規模リノベPJの一部）
- 国際線キャパシティの**拡大**
  2,300万人（2018年） ▶ **4,000**万人（2025年春）

## 関西3空港・旅客数の推移（2019年同月比）





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 粗利重視の戦略で客室単価を向上、すでにコロナ前を上回る利益水準

## 事業の概要

- 全国**26**施設・約**5,800**室を経営・運営
（2023年3月31日時点）

ORIX HOTELS & RESORTSのHPはこちら

- **高価格帯**施設を開業、**粗利率**向上

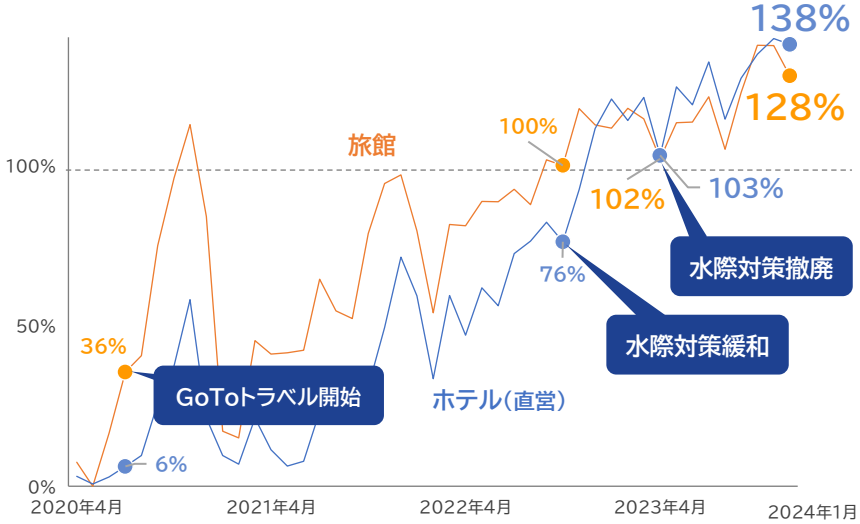
✓ 旅館リゾート「熱海・伊豆山　佳ら久」
（2023年12月に開業）

✓ 大型温泉リゾート「杉乃井ホテル」
（新客室棟「宙館」を2023年1月に開業）

*（上：熱海・伊豆山　佳ら久、下：杉乃井ホテル）*

## 「1室あたり収益」* の推移（2019年同月比）

**1室あたり収益＝部屋単価 x 客室稼働率*





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 航空機リース料は、コロナ前水準を超え、上昇基調を維持

## 事業の概要*

*2023年12月末時点

**オリックス 航空機リース事業**

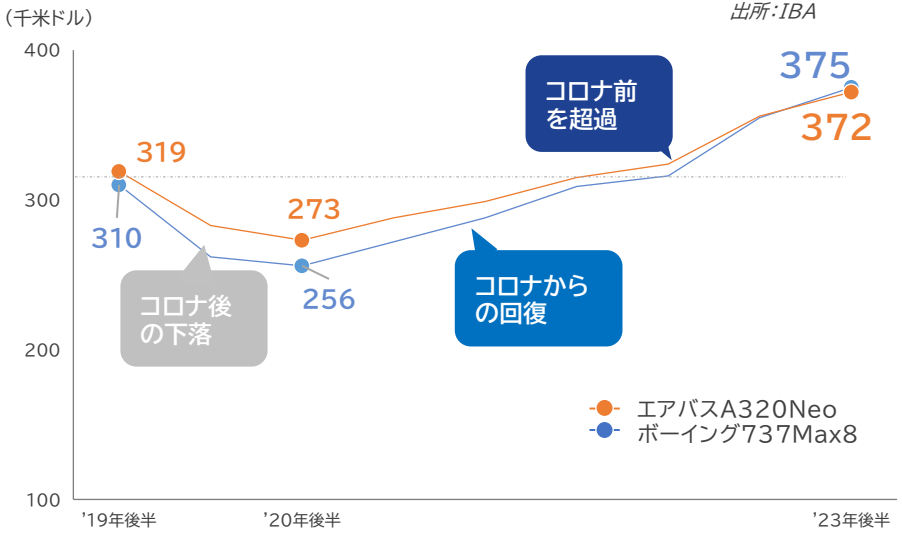
- **60**機保有/**138**機管理
- 中古マーケットが主力
- **アセットマネジメントサービス**

**Avolon（関連会社）**

- **533**機保有/**458**機発注済
- 航空機メーカーに大口発注
- オリックス30%出資（2018年11月）

## リース料の推移

出所：IBA





Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 10のセグメント。分散化された事業ポートフォリオを構築

（2023年3月31日現在）

| セグメントの種類 | 主要な事業内容 | セグメント利益 | セグメント資産 |
|---|---|---|---|
| 法人営業・メンテナンスリース | 金融・各種手数料ビジネス、自動車およびICT関連機器などのリースおよびレンタル | 750億円 | 1兆5,141億円 |
| 不動産 | 不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産の資産運用 | 516億円 | 9,350億円 |
| 事業投資・コンセッション | 企業投資、コンセッション | 28億円 | 6,055億円 |
| 環境エネルギー | 国内外の再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理、資源リサイクル | 330億円 | 7,736億円 |
| 保険 | 医療保険や死亡保険などの生命保険 | 630億円 | 2兆504億円 |
| 銀行・クレジット | 投資用不動産ローンを中心とした銀行業務、カードローン、信用保証、住宅ローン | 376億円 | 2兆6,987億円 |
| 輸送機器 | 航空機および船舶のリースやアセットマネジメントサービス | 186億円 | 7,429億円 |
| ORIX USA | 米州における金融、投資、アセットマネジメント | 490億円 | 1兆4,621億円 |
| ORIX Europe | グローバル株式・債券のアセットマネジメント | 407億円 | 4,179億円 |
| アジア・豪州 | アジア・豪州における金融、投資 | 350億円 | 1兆3,951億円 |


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 実績と目標

| | 23.3期 実績 | 24.3期Q3累計 実績 | 24.3通期 目標 | 25.3期 目標 |
|---|---|---|---|---|
| セグメント利益 | 4,062億円 | 3,192億円 | 4,900億円 | 5,900億円 |
| 当期純利益 | 2,903億円 | 2,192億円 | 3,300億円 | 4,000億円 |
| ROE | 8.5% | 8.0% | 9.0% | 10.4% |

**財務健全性**

A格に相応しい財務基盤を維持*

S&P: A- ｜ Moody's: A3 ｜ Fitch: A- ｜ R&I: AA ｜ JCR: AA

**株主還元**

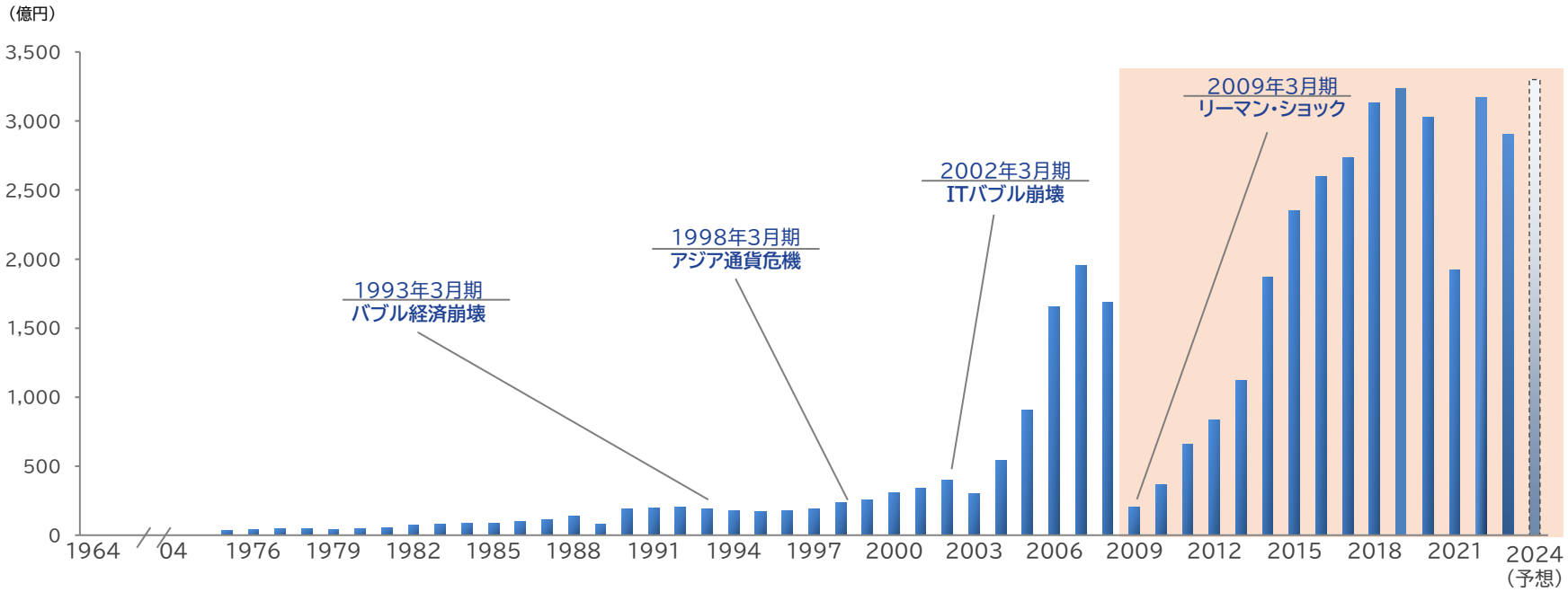
配当　：配当性向33%または前期配当金額の高い方(23.3期は85.6円)

自社株買い　：機動的に実施(24.3期は500億円 実行済)

*いずれも2024年1月末時点の格付。


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 事業の分散化とリスク管理能力で、リーマン・ショック時も黒字を計上




※「当社株主に帰属する当期純利益」の推移。


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# リーマン・ショックの09.3期も配当を実施。その後、配当額を大幅に成長

## 1株当たり配当金の推移

＊当期純利益が3,300億円の場合


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 2024年3月をもって株主優待制度を廃止いたします
# 今後は配当等による利益還元に集約いたします

| 株主カード | ふるさと優待 |
| --- | --- |
| • 2024年3月31日時点の株主様へのお届けをもちまして廃止<br>• カード裏面に記載される有効期限(2025年7月31日)までご利用いただけます<br> <br> | • 2024年3月31日時点の株主様へのお届けをもちまして廃止<br> <br> |


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# GHG(CO2)排出量削減をはじめ重要課題の達成に向け、取り組み推進中

## ESG重要課題

1. 2023年6月の株主総会までに、取締役会の**社外取締役比率を過半数**とする。
2. 2030年3月期までに、取締役会の**女性取締役の比率を30%以上**とする。
3. 2030年3月期までに、オリックスグループの**女性管理職比率を30%以上**とする。
4. 2030年3月期までに、オリックスグループの**GHG($CO_2$)排出量を、2020年度比実質的に50%削減**する。
5. 2050年3月期までに、オリックスグループの**GHG($CO_2$)排出量を実質的にゼロ**とする。
6. 2030年3月期までに、**GHG($CO_2$)排出産業* に対する投融資残高を、2020年度比50%削減**する。
7. 2040年3月期までに、**GHG($CO_2$)排出産業* に対する投融資残高をゼロ**とする。

*一部の海外現地法人における化石燃料採掘業やパーム油プランテーション、林業を指す

## ESGスコア

(2024年2月6日時点)

| ESG評価機関 | 評価 |
|---|---|
| MSCI | AA<br>「総合金融業界61社のリーダー」 |
| FTSE | 3.7<br>FTSE Blossom Indexの構成銘柄へ |
| Sustainalytics | 19.3<br>業界894社中162位 |
| DJSI | 43<br>業界平均スコア:22 |
| CDP | B<br>業界平均スコア:B |


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# オリックス・バファローズ

Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 「投資家情報」サイトでは、最新の決算情報など、各種IR情報を掲載しております

オリックス　投資家情報

https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/individual/

## 個人投資家向けウェブサイトをリニューアルしました！

個人投資家の皆さまのご理解に役立つポイントを、まとめました。

株主優待の情報についても、わかりやすくまとめています。

IRメール配信登録はこちらから
https://rims.tr.mufg.jp/?sn=8591


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

# 本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会(SEC)に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因(Risk Factors)」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。


Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.